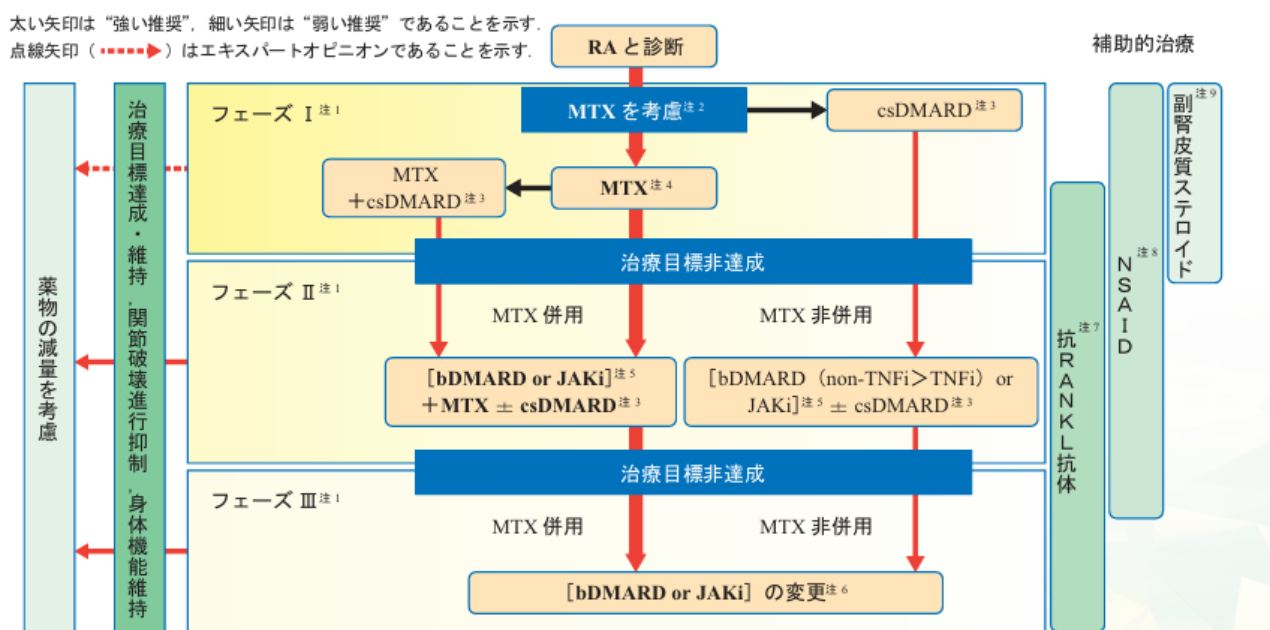


関節リウマチ診療ガイドライン 2024 改訂

生物学的製剤や JAK 阻害剤など新しい治療薬が開発され、医療を取り巻く環境も大きく変化してきたことから、2014 年に公表されたガイドラインが 2021 年に改定された。さらにその後、新規薬剤の登場、これまで認識されていなかった短期・長期的な安全性に関する懸念、コロナ禍での医療、難治症例や臓器障害への対応、個々の患者との同意形成など、新たな臨床的な課題が析出してきたことから、新たなエビデンスが加えられたアップデート版として「関節リウマチ診療ガイドライン 2024 改訂—若年性特発性関節炎少関節炎型・多関節炎型診療ガイドラインを含む」が刊行された。

今回改訂されたガイドラインでは、薬物療法として新規 JAK 阻害薬、MTX の皮下注射製剤、新規 TNF 阻害薬である OZR や新規バイオ後続品のエビデンスが追記され、ライフステージ別の RA 診療として、高齢者、妊娠・授乳期の診療に関して、推奨と解説が掲載されている。

薬物治療のアルゴリズムに関しては、2020 年版で、目標達成に向けた治療戦略の基本概念を遵守しながら、わが国の関節リウマチ治療薬や高齢社会の背景を念頭におき、医療経済も考慮した新たなアルゴリズムが作成されており、引き続き用いられている。



「日本リウマチ学会 関節リウマチ診療ガイドライン 2024 改訂」 診断と治療社